



大谷戸小学校が竣工しました。



展示交流ラウンジ



教室前の廊下



木質底のメインアプローチ



体育館

CONCEPT

地域に愛される学校を目指して

本学校は、児童数の急激な増加に伴う校舎等の狭隘化の解消、施設設備の老朽化及び教育内容の多様化に対応した必要な施設機能を確保するため、全面的な改築が行われたものです。建替えにあたってはセットバックによる歩道拡幅や、旧校舎の日影を考慮した建物ボリューム、旧校舎と同じ配置としながら片廊下型から中廊下型の構成とすることで、増加した必要床面積への対応と、周辺環境に影響を与えない計画を両立しています。

既存樹木を再利用した木質空間

本計画は、計画上・工地上、敷地内にあった既存樹木も伐採撤去せざるを得ない状況にありました。しかしながら、既存樹木の中には地域の人々が大切に育ててきた木も多数あり、親しまれてきた風景を何かしらの形で継承したいという想いから、既存樹木を製材化して新校舎の内外装材に利用する計画としています。既存並木の風景や旧校舎の様々な面影が新校舎の大切な構成要素となることで、まちの記憶も継承し、「これからも地域に愛される学校」を目指しています。



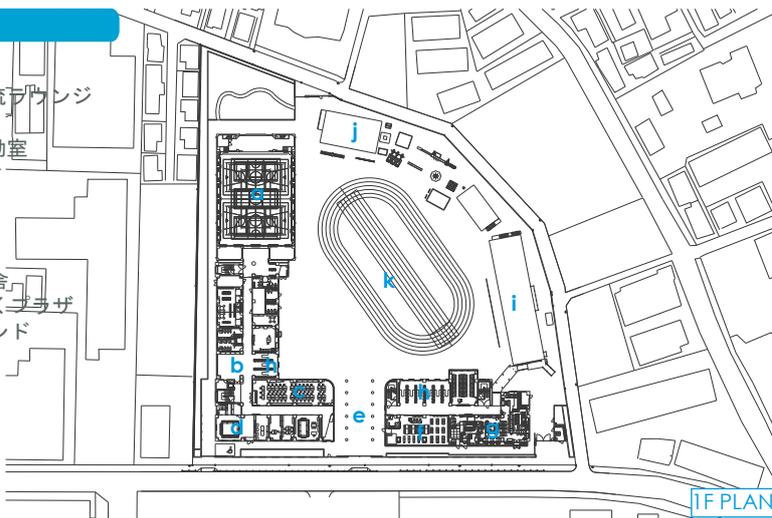
校舎全景

DATA

敷地面積	: 11,867.10㎡
建築面積	: 3,906.83㎡ (今回工事部分)
延床面積	: 10,212.42㎡ (今回工事部分)
建ぺい率	: 38.70% (許容60%)
容積率	: 95.67% (許容200%)
構造・規模	: RC造、一部S・SRC造 地上4階、棟屋1階
最高高さ	: 14.96m
軒高	: 14.36m
主なスパン	: 8.0m×8.0m
設計期間	: 2011.05~2012.03
工事期間	: 2012.10~2014.02

PLAN

- a. 体育館
- b. 展示交流ラウンジ
- c. 職員室
- d. 特別活動室
- e. ピロティ
- f. 図書室
- g. 給食室
- h. 昇降口
- i. 既存校舎
- j. わくわくプラザ
- k. グラウンド



1F PLAN

TOPICS



竣工前には、同年卒業の児童達と一緒に既存樹木の端材を使った木レンガ壁を製作して、思い出に残る学校になるようにワークショップを行いました。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>